

## 『日本語教育通信』読者アンケートへのご協力をお願い

『日本語教育通信』は、日本語教育についての海外への情報提供を目的として、国際交流基金日本語国際センターで研修を受けた方々や、海外で日本語教育を行なっている機関を対象に、年3回（1月、5月、9月）発行しているニューズレターです。1990年の創刊以来、研修修了者の増加や日本語教育機関の増加にともない、発行部数を増やしてまいりました。2003年1月現在、全印刷部数17,000部、うち約9割を海外へ向けて発送しています。また、1998年からは当センターのウェブサイトに『日本語教育通信』のPDFで掲載するようになり、第28号以降のほぼ全文をインターネット経由で閲覧できるようになっています。

他方、政府出資金の運用利益と政府補助金で運営されている国際交流基金は、一連の行政改革の流れの中で、予算が大幅に減額されることとなり、『日本語教育通信』もページ数や配布先を見直さなければならなくなりました。今後は、紙媒体での配布を大幅に減らし、ウェブサイト上での掲載に重点を移す予定であります。つきましては、今後の『日本語教育通信』のあり方を考える材料の一つとするため、以下のアンケートにご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

ご回答は、郵送またはFAXにて以下の宛先に、2003年3月末日までにご返信ください。また、e-mailでお知らせくだされば、MS Wordで作ったアンケート用紙をメールに添付してお送りしますので、メールでの回答も可能です。

2003年1月

『日本語教育通信』編集担当

返信宛先：

〒336-0002

埼玉県さいたま市北浦和 5-6-36

国際交流基金 日本語国際センター 情報交流課

『日本語教育通信』アンケート係

JAPAN

↑ 郵送の場合は、切り取って封筒にお貼りください。

電話番号：+81-48-834-1184

ファックス番号：+81-48-830-1588

URL：<http://www.jpf.go.jp/j/urawa/index.html>

Email：[jfnckt@jpf.go.jp](mailto:jfnckt@jpf.go.jp)

## 『日本語教育通信』アンケート

- \* 以下、当てはまるものの数字あるいは記号に○をつけ、必要事項をご記入ください。
- \* 回答者は一人でご記入ください。機関に複数の回答者がいる場合は、代表者 1 名のみ  
の回答とするか、本用紙をコピーして個々にご回答いただくか、どちらかをお願い  
いたします（複数の回答者が同時に 1 枚のアンケート用紙で回答しないでください）。

### 1. アンケート回答者について

- (1) さしつかえなければ、お名前と所属機関をお書きください。（義務ではありません）

名前 \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_

- \* (2) 以下は、必ずお答えください。

- (2) あなたの国籍及び在住国を教えてください。

国籍 < \_\_\_\_\_ > 在住国 < \_\_\_\_\_ >

- (3) あなたの母語は何ですか？

1 日本語                      2 日本語以外 ( \_\_\_\_\_ 語)

- (4) 日本語教育との関わりについて教えてください。

1 日本語国際センターの元研修生                      2 国際交流基金の派遣専門家  
3 1 及び 2 以外の日本語教育機関の教師・関係者                      4 図書館関係者  
5 学習者                      6 その他 < \_\_\_\_\_ >

- (5) あなたが関わっている日本語の教育段階を教えてください。（複数回答可）

1 初等教育                      2 中等教育                      3 高等教育（大学以上）  
4 その他 < \_\_\_\_\_ >

- (6) あなたの日本語教育歴を教えてください。

1 1 年未満                      2 5 年未満                      3 10 年未満                      4 10 年以上

- (7) あなたの日本語学習歴を教えてください。

1 3 年未満                      2 10 年未満                      3 20 年未満                      4 20 年以上

- (8) 日本語能力試験の級をお持ちであれば、教えてください。

1 1 級                      2 2 級                      3 3 級                      4 4 級                      5 持っていない

## 2. 利用環境について

- (1) 紙媒体の『日本語教育通信』の利用状況について教えてください。
- 1 図書館や教員室においてあり、教師も学習者も、自由に読むことができる。
  - 2 日本語教師のみが読むことができる場所に置いてある。
  - 3 個人が所有しており、それ以外の人が読むことはない。
- (2) インターネットの利用環境について教えてください。
- 1 所属機関のパソコンなどからインターネットに接続できる。
  - 2 自分が所有するパソコンなどからインターネットに接続できる。
  - 3 所属機関も自分もインターネットに接続できる環境にはない。
  - 4 その他 < >

## 3. ウェブサイト上の『日本語教育通信』の利用について

- (1) 『日本語教育通信』は当センターのウェブサイト上に PDF で掲載されていますが、ご覧になったことがありますか？
- 1 見たことがある
  - 2 見たことがない
  - 3 見ようとしたが見られなかった
- (2) 『日本語教育通信』がウェブサイト上のみでの配信となった場合、どうしますか？
- 1 全ページをウェブサイト上で読む（あるいはプリントアウトする）。
  - 2 関心のある記事だけウェブサイト上で読む（あるいはプリントアウトする）。
  - 3 全く読まなくなる。
  - 4 その他 < >

## 4. 現在の記事について

\* ( ) 内の数字及び記号の意味

[その記事を 1:必ず読む 2:ときどき読む 3:ほとんど読まない]

[その記事の日本語は a:難しい b:普通 c:簡単 ]

\* < >には、その記事についてのご意見・ご要望などがあれば、自由にお書きください。

(1) 表紙エッセイ ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(2) 海外日本語教育レポート ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(3) 写真で見る日本人の生活 ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(4) 授業のヒント ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(5) 新聞・雑誌から見る現代日本 ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(6) 文法をやさしく ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(7) 授業に役立つホームページ ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(8) 日本語・日本語教育を研究する ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(9) 本ばこ ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(10) 基金事業等の紹介記事 ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

(11) ニュース ( 1 2 3 ) ( a b c )

<

>

## 5. 将来の記事について

これからの『日本語教育通信』に何を期待しますか？ 自由にお書きください。